

新しい文化研究の方法としてのカルチュラルスタディーズ

課題やレポート等で文化研究に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょうか。文化を学術的に学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探すとき、こんなキーワードで探してみよう

カルチュラル・スタディーズ、現代文化、文化史、批評理論、記号論、表象論、言語哲学、文化人類学、ポピュラーカルチャー、サブカルチャー など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F 和参考書にある資料は貸出できませんので注意してください。

書名・著者・出版社 など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
世界シンボル大事典 大修館書店, 1996.12	8号館 3F 8和参考書	160.33/CJ-S	11+0003922	文化は、文学、宗教、神話、芸術、民間伝承、占星術、錬金術などの諸分野にわたる象徴性を学ぶことができる。
日本文化人類学会編『文化人類学事典』、丸善, 2009.1	8号館 3F 8和参考書	389.033/BZ-Z	10+0227724	文化人類学の基本を調べるのに便利。
テリー、イーグルトン『文化とは何か』松柏社, 2006.8	8号館 3F 8号館和図書	361.5/ET-B	10+0188010	文化という言葉の意味を考える一冊。ここからはじめてさまざまな立場の本を読んでみてください。

入門書 ☆基礎を学んでみよう。

書名・著者・出版社 など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
上野俊哉・毛利嘉孝『カルチュラル・スタディーズ入門』、ちくま新書, 2000.9	8号館 3F 8号館和図書	361.5/UT-K	10+0161684	カルチュラル・スタディーズの入門書として平易に理論と具体的分析が書かれている。
ターナー、グレアム『カルチュラル・スタディーズ入門-理論と英国での発展-』、作品社, 1999.5	8号館 3F 8号館和図書	361.5/TG-K	10+0217262	イギリスの事例がほとんどであるが、平易に書かれているので研究の実践例として参考になる。
半藤一利監修『知識ゼロからの太平洋戦争入門』幻冬舎, 2009.4	8号館 4F 8号館和図書	210.75/TZ-T	10+0331879	最近、「戦争」が話題にのぼることが多いが、日本人として、太平洋戦争について少しは知っておくべきである。 イラストや図表が豊富で、文字通り「知識ゼロからの太平洋戦争入門」である。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
鈴木孝夫『閉ざされた言語・日本語の世界』新潮選書, 1975.3	8号館 3F 8号館和図書	810.4/ST-T*	10+0333682	かなり古い本で、論述がやや古い部分もあるが、われわれの母語である日本語はどういう言語かを知るために、また、異文化を理解するとはどういうことかを知るために、面白く書かれていて、参考になる。
エドワード・サイード『文化と帝国主義』1, 2 (みすず), 1998.12, 2001.7	B1A 和閉図書	361.6/SE-B/1 361.6/SE-B/2	10+0128801 10+0128802	文学をドキュメントとし、文化と政治の関係を論じている。基本の専門書の一冊。

学術雑誌 ☆専門的な研究や最新動向を知るなら、雑誌を見てみよう！巻号数がたくさんある場合は、読みたい論文・記事を特定してください。

誌名・発行元	所在場所	請求記号	所蔵巻・所蔵年	ポイント
カルチュラル・スタディーズ学会学会誌『年報カルチュラル・スタディーズ』	B1B 和閉雑誌	053.6/N24	1-5<2013-2017>継続中	カルチュラル・スタディーズのさまざまな最新の取り組みを知ることができる。
表象文化論学会学会誌『表象』	B1B 和閉雑誌	051.1/H2	2-3,6-7,9-11<2008-2017> 継続中	幅広く表象、表現、イメージについての論文が掲載されている。学問的に評価された論文とはどのようなものかを知ることができる。